

平成21年度京都大学地域研究統合情報センター 全国共同利用研究報告会プログラム

日時：2010年4月25日(日) 9時30分～16時30分
 場所：稲盛財団記念館大会議室(333号室)

| | | | |
|------------------------------------|--------------------------------|---|-----------------------------------|
| 9:30-9:35 | 趣旨説明：共同利用・プロジェクト構想委員会委員長 山本 博之 | | |
| 発 表 | | 司会：山本 博之 | |
| 9:35-12:00 【関連地域研究プロジェクト】 | | | |
| 9:35-9:50 | 複合 | リージョナリズムの歴史制度論的比較 | 小森 宏美(CIAS) |
| 9:50-10:05 | 個別 | イスラム教圏東南アジアにおける民族・宗教と社会の複層化 | 山本 博之(CIAS) |
| 10:05-10:20 | 複合 | 自然生態資源の利用における地域コミュニティ・制度・国際社会 | 柳澤 雅之(CIAS) |
| 10:20-10:35 | 個別 | 土地権、環境、暴力——インドネシアにおけるアブラヤシ開発に伴う諸問題 | 中島 成久 (法政大学国際文化学部) |
| 10:35-10:50 | 個別 | ストックとフローからとらえる東南アジア大陸部山地：自然資源利用におけるストック概念の再検討 | 柳澤 雅之(CIAS) |
| 10:50-11:15 | 休 憩 (25分) | | |
| 11:15-11:30 | 複合 | 「民主化」と体制転換の地域間比較研究 | 村上 勇介(CIAS) |
| 11:30-11:45 | 個別 | ポスト新自由主義時代のラテンアメリカにおける国家・社会関係の動態に関する比較研究 | 村上 勇介(CIAS) |
| 11:45-12:00 | 個別 | 中東諸国家運営メカニズムの普遍性と特殊性の析出 —地域間比較における現代中東政治研究のパーспекティブ | 浜中 新吾 (山形大学地域教育文化学部) |
| 12:00-13:30 | 昼 食 (90分) | | |
| 13:30-14:45 【地域情報学プロジェクト】 | | | |
| 13:30-13:55 | 複合 | 時空間情報に着目した地域研究情報の創出 | 原 正一郎(CIAS) ※報告者 |
| | 個別 | 地域情報のデータベース化に関する研究 | 貴志 俊彦(CIAS) |
| | 個別 | HGISに関する研究 | 関野 樹 (総合地球環境学研究所) |
| 13:55-14:20 | 個別 | 東アジアにおける地域変容のインデックスとしての医学・衛生学関係資料 | 飯島 涉 (青山学院大学文学部) |
| 14:20-14:45 | 個別 | 地域情報学的手法を用いたベトナム・ハノイの都市変容の解明 | 米澤 剛 (総合地球環境学研究所) |
| 14:45-15:00 | 休 憩 (15分) | | |
| 15:00-16:00 【地域研究方法論プロジェクト】 | | | |
| 15:00-15:15 | 複合 | 地域研究方法論 | 山本 博之(CIAS) |
| 15:15-15:30 | 個別 | 地域研究の再帰的分析 | 小森 宏美(CIAS) |
| 15:30-15:45 | 個別 | 映像実践による現代宗教復興現象の解明を通じた地域研究手法の開発 | 新井 一寛 (京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科) |
| 15:45-16:00 | 個別 | 公共領域としての地域研究の可能性 —東南アジア海域世界における福祉の展開を事例として | 西尾 寛治 (防衛大学校人文社会科学群人間文化学科) |
| 16:00-16:30 | 総評と討論 | | |

●問合せ先：共同利用・プロジェクト構想委員会
 (事務担当：松田) hirokom@cias.kyoto-u.ac.jp
 (担当教員：山本) yama@cias.kyoto-u.ac.jp